



株主の皆様へ

第70期

中間報告書

2024.4.1 ▶ 2024.9.30

グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにBetter Connection」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

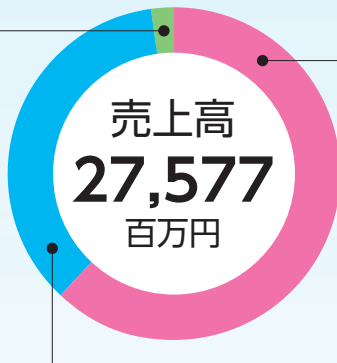
- 1 人の尊重**
人を育て、人を活かし、会社の発展と個人の幸せの共有を目指します。
- 2 企業価値の最大化**
株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。
- 3 企業品質の向上**
信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。
- 4 技術立社への挑戦**
開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。
- 5 社会的役割の達成**
常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。

セグメント別売上高構成比と主要な事業内容 (2024年9月30日時点)

● 光関連事業

2.1%

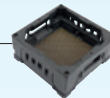
RGBフィルタ、UV/IRカットフィルタ、ダイクロイックフィルタ・ミラー、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、バンドパスフィルタ、半導体レーザー光源



● テストソリューション事業

62.2%

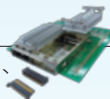
バーンインソケット、テストソケット、半導体テスト関連サービス



● コネクタソリューション事業

35.7%

高速伝送用コネクタ、カードコネクタ、インターフェースコネクタ、基板コネクタ、圧接コネクタ、実装用ICソケット、その他各種コネクタ、YFLEX®(高速伝送用ケーブル、実装基板)



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年3月期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日までの)事業概況をご報告いたします。

代表取締役社長
亀谷 淳一



当中間連結会計期間における世界経済は、長期化するインフレに伴う世界的な金融引き締めが行われる中で、米国では個人消費を中心に景気は底堅く推移しましたが、欧州では製造業の低迷長期化、中国では国内需要の低迷により景気停滞が続きました。また、金融政策の差から生じた不安定な為替相場、長期化するウクライナ問題に伴う資源高に加え、中東を中心とした地政学的リスクの高まり等により先行が不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは世界的な半導体需要の増加を見据え、半導体ソケットの安定した供給体制の強化及び、通信機器・車載機器・産業機器向けコネクタなど多様化する顧客ニーズに迅速かつ効率的に対応するため、佐倉事業所第2棟及びフィリピン第3工場を新たに立上げ、順調に稼働しております。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高 27,577百万円(前年同期比 48.2%増)、営業利益 6,833百万円(前年同期比 335.3%増)、経常利益 6,162百万円(前年同期比 270.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益 4,091百万円(前年同期比 241.4%増)となりました。

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、下期において、テストソリューション事業ではスマートフォン向けのテストソケットは次年度の新製品開発期間になる見込みですが、パー

ンインソケット分野ではデータセンター向けを中心としたDRAMメモリ向け及び、自動車ADAS向けのバーインソケットが順調な推移を見込んでおります。コネクタソリューション事業では車載機器向け及び通信機器向けは堅調な推移を見込んでおりますが、産業機器向けは主力の欧州市場での在庫調整の長期化が予想されます。

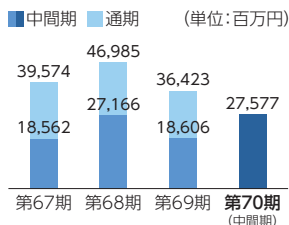
以上の見通しから、当社グループにおける2025年3月期の通期連結業績につきましては、売上高48,700百万円(前年同期比 33.7%増)、営業利益8,800百万円(前年同期比 200.0%増)、経常利益8,600百万円(前年同期比 195.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6,000百万円(前年同期比 191.2%)を見込んでおります。

なお、中間配当につきましては、1株当たり35円といたしました。期末配当につきましては、配当性向30%を基準に1株当たり54円、通期では89円を予定しておりますが、最終配当金額につきましては、2025年3月期期末決算時の純利益にて調整させていただきます。

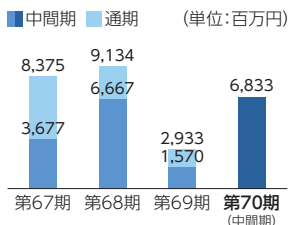
株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

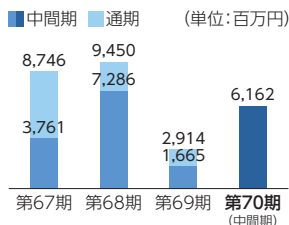
売上高



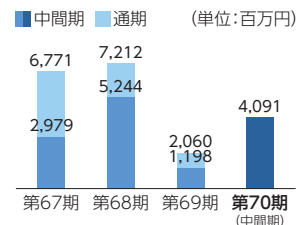
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

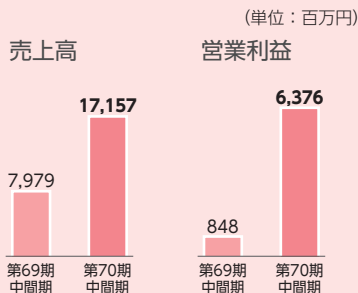


セグメント情報

テストソリューション事業

バーンインソケット、テストソケット、半導体テスト関連サービス

売上高構成比
62.2%



高性能パワー半導体向けバーンインソケットの拡充

特定分野で使用されているパワー半導体ですが今後更に、車載向けxEV車（電気・Hybrid自動車）の普及、またクリーンエネルギーへの変革ではGX（グリーントランスフォーメーション）が普及していく中で、更なるパワー半導体の需要が増加していきます。

このような半導体パッケージは特殊な形状をしており高電流、高電圧対応ができるソケット開発が必要とされております。当社では長年培ったソケット設計、開発、製造技術を駆使して、あらゆるパワー半導体に対応できるよう柔軟にソケット開発を継続して進めております。今後もお客様のニーズにお応えする技術開発に取り組み、最適なテストソリューションを提案してまいります。

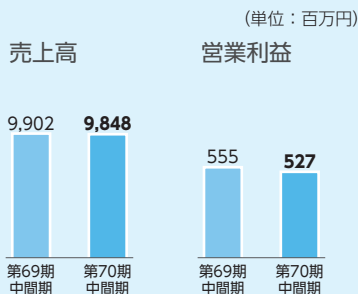


パワー半導体向け高性能ソケット

コネクタソリューション事業

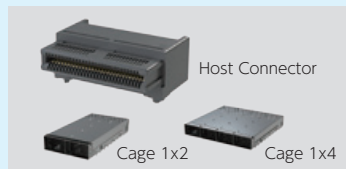
高速伝送用コネクタ、実装用ICソケット、YFLEX®（高速伝送用ケーブル）等

売上高構成比
35.7%



1.6Tbps対応光トランシーバ用インターフェースコネクタをラインアップ

生成AIの広がりによりデータセンター市場では、大容量高速通信に対応した製品の需要が急増しております。昨年より800Gbps対応製品の市場投入が開始され、2024年に入り高速化のニーズは更に加速しております。当社は、市場に先駆け800Gbpsの倍の能力を保有する1.6Tbpsに対応したOSFP（OCTAL SMALL FORM FACTOR PLUGGABLE MODULE）製品を新たにラインアップし市場投入を開始いたしました。生成AIの進化と市場での通信ネットワークの高速化が更に進みシステムの開発タイミングがより早くなると予測し、当社の保有する高速伝送技術力によりいち早く製品開発が可能となりました。今後も市場ニーズを先取りし、最適な通信環境をサポートできる製品開発に取り組んでまいります。

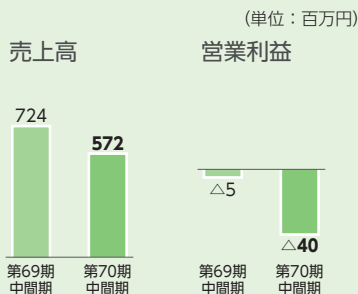


1.6Tbpsイーサネット対応光通信モジュール用OSFPコネクタ

光関連事業

RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源等

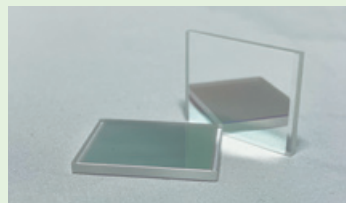
売上高構成比
2.1%



空間光通信用レンズシステムに搭載される近赤外線フィルタを開発

空間光通信は、地球低軌道に配置された複数の小型衛星を使って、高速大容量通信を実現するもので、電波を使う従来の衛星通信より電磁干渉への耐性が高いという特長があり、衛星間だけでなく、衛星から地上へデータを降ろす通信網として期待され、そのサービス拡充に向けて今後も数千機の衛星の打ち上げが見込まれています。

衛星に搭載されるレンズシステムは複数のレンズを組み合わせで構成され、内部での光の反射や不要な光の侵入を防ぐ近赤外線フィルタを必要とします。光関連部門では、このレンズシステムに搭載される近赤外線フィルタを開発いたしました。今後もレンズシステムの実用化及び商品化に向けて技術開発を推進してまいります。



近赤外線フィルタ

トピックス

山一電機グループは、2030年にCO₂排出量を2021年度の原単位基準で40%削減することを目指してあります。また、2050年のカーボンニュートラルに向けて取り組んであります。2024年、新たに国内・海外の2拠点において太陽光パネルの新設を行いました。今後も環境負荷の軽減に向け、グループ全体で取り組んでまいります。

佐倉事業所（千葉県佐倉市）

増設

これまで佐倉事業所では445W×1,530枚の太陽光発電パネルを設置していましたが、2024年1月31日に竣工した第2棟の屋上へ、新たに585W×630枚の太陽光発電パネルを設置しました。

これらの太陽光パネルとNAS電池*を併用したハイブリッド太陽光発電システムにより、佐倉事業所全体の電力使用量の約25%を太陽光発電で賄うことが可能です。

また、このシステムはデマンドレスポンスにも対応しており、事業所全体の発電量をリアルタイムで管理し、必要に応じて放電などの対応を行っています。

* 電力需要が高い時間帯に蓄えた電力を放出することで、電気料金を節約したり、電力供給の負担を軽減したりできるシステムです。



Yamaichi Electronics Deutschland Manufacturing GmbH（ドイツ）

新設

ドイツの生産拠点Yamaichi Electronics Deutschland Manufacturing GmbHで430W×1,432枚の太陽光発電パネルを新たに設置しました。

今年度中の稼働開始を目指して準備を進めています。
(現在、行政の稼働許可手続き中)



自己株式取得の状況

取締役会決議内容				自己株式取得実績 (2024年10月31日 受渡日基準)	
決議日	取得上限株式数	取得上限金額	取得期間	取得株式数	取得金額
2024年5月14日	500,000株	1,000,000,000円	2024年6月1日～2024年12月31日	360,900株	999,979,900円

2024年5月14日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得は、2024年10月31日の受渡しをもちまして終了いたしました。

■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期末 (2024年9月30日現在)	前期末 (2024年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	33,556	29,715
現金及び預金	17,458	13,104
受取手形及び売掛金	7,756	7,584
棚卸資産	6,406	6,880
その他	1,935	2,145
固定資産	21,212	21,346
有形固定資産	18,662	19,086
無形固定資産	762	517
投資その他の資産	1,786	1,742
資産合計	54,769	51,062
負債の部		
流動負債	10,896	9,231
支払手形及び買掛金	1,758	2,454
短期借入金	2,739	2,799
その他	6,398	3,977
固定負債	3,259	3,566
長期借入金	390	410
その他	2,869	3,156
負債合計	14,156	12,797
純資産の部		
株主資本	38,030	34,912
資本金	10,084	10,084
資本剰余金	1,648	1,623
利益剰余金	29,123	25,297
自己株式	△ 2,824	△ 2,092
その他の包括利益累計額	2,427	3,161
非支配株主持分	154	189
純資産合計	40,613	38,264
負債純資産合計	54,769	51,062

■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前中間期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	27,577	18,606
売上原価	15,794	12,854
売上総利益	11,783	5,752
販売費及び一般管理費	4,950	4,182
営業利益	6,833	1,570
営業外収益	85	240
営業外費用	756	144
経常利益	6,162	1,665
特別利益	11	164
特別損失	292	-
税金等調整前中間純利益	5,882	1,830
法人税、住民税及び事業税	2,033	289
法人税等調整額	△ 231	295
中間純利益	4,079	1,244
非支配株主に帰属する中間純利益	△ 12	45
親会社株主に帰属する中間純利益	4,091	1,198

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前中間期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,123	2,394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,970	△ 1,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,539	△ 2,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 431	748
現金及び現金同等物の増減額	4,182	△ 1,059
現金及び現金同等物の期首残高	13,072	16,734
現金及び現金同等物の中間期末残高	17,255	15,675



会社概要

(2024年9月30日現在)

会社の概要

商号 山一電機株式会社
 所在地 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
 設立 1956年11月
 資本金 100億8,410万円
 従業員数 400名 (連結 2,109名)
 主な事業内容 1. テストソリューション事業
 2. コネクタソリューション事業
 3. 光関連事業

株式の状況

発行可能株式総数 60,000,000株
 発行済株式総数 21,829,775株
 株主数 10,178名
 単元株式数 100株
 大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,590,800	12.83
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,105,800	10.42
J P モ ル ガ ン 証 券 株 式 会 社	897,138	4.44
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	552,718	2.73
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	520,000	2.57
日本生命保険相互会社	421,075	2.08
JP JPMSE LUX RE BARCLAYS CAPITAL SEC LTD EQ CO	370,366	1.83
J.P.MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMSP RE CLIENT ASSETS-SETT ACCT	330,500	1.63
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	326,311	1.61
DZ PRIVATBANK S.A. RE INVESTMENTFONDS	320,000	1.58

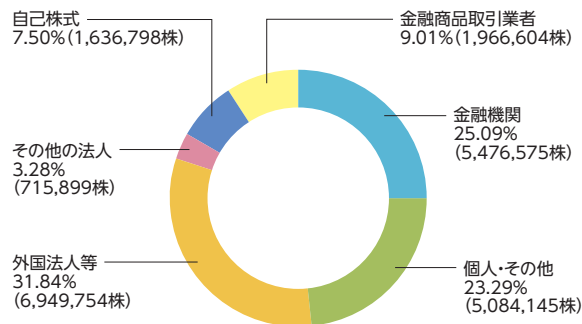
(注) 1. 当社は、自己株式を1,636,798株保有しておりますが、上記大株主からは除外してあります。

2. 持株比率は自己株式1,636,798株を控除して計算しております。

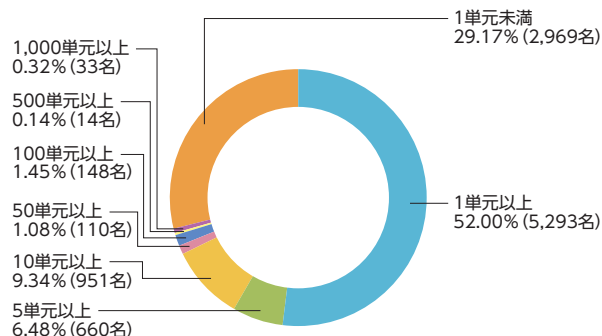
役員

取締役会長 太田 佳孝 取締役 (常勤監査等委員) 柳澤 光一郎
 代表取締役社長 亀谷 淳一 社外取締役 (監査等委員) 岡本 忍
 取締役 土屋 武 社外取締役 (監査等委員) 村瀬 孝子
 取締役 松田 一弘
 取締役 岸村 伸洋
 社外取締役 村田 朋博
 社外取締役 佐久間 陽一郎
 社外取締役 依田 稔久

所有者別株式数分布状況



所有株数別株主数分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (プライム市場: 証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行います。 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRサイトのご案内

IR情報はホームページからもご覧になれます。
<https://www.yamaichi.co.jp/ir/>



今後も、「株主の皆様へ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
 ☎03-3734-0115 (株主様専用) ☎03-3734-0120
 ホームページアドレス <https://www.yamaichi.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。

